

○実態調査・政策対話について

➤ ASEAN地域における自動車リサイクルの実態調査(ERIA研究事業)

■背景

- 大量の中古車・中古部品が輸出されており、新車販売台数における日系メーカーのシェアも高い。
- 今後、使用済自動車の発生について増加が見込まれている。
- リサイクル関連の産業インフラ・法規制整備が行われておらず、不適正処理による環境問題が顕在化。

■目的

- 中古部品・使用済自動車の流通・処理状況、自動車リサイクルシステム上の課題等の把握を行う。
- 今後の自動車リサイクルのあるべき姿に関しての政策提言を行う。

■実施内容

- 現地調査(インドネシア、タイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー)
- 政策フォーラム(参加国:インドネシア、タイ、ベトナム、マレーシア、インド、日本)

○アジアの自動車リサイクル法整備状況

国名	自動車リサイクル法整備状況	備考
中国	廃棄自動車回収管理弁法(2001年)	—
韓国	電子・電気製品及び自動車の資源循環に関する法律(2008年)	—
台湾	—	自工会が自主取組を実施
ベトナム	廃棄製品の回収・処理に関する規程(2013年)	自動車・二輪車の適用時期:2018年～
マレーシア	—	廃車法を検討中
インド	—	自動車工業標準ELV2014を作成中

自動車リサイクルの国際展開支援について

○静脈産業の国際展開の現状について(主な事例)

進出企業名	進出先(設立年)	出資形態	事業内容
石上車輛	UAE(2010)	合弁(現地企業)	中古部品の世界2大市場であるUAEに進出し、中古部品販売を実施。
エコアール	マレーシア(2014)	単独	マレーシアで中古部品販売を実施。
会宝産業(会宝総合研究所)	タイ(2008)、ケニア(2009)、シンガポール(2010)、ナイジェリア(2011)、ガーナ(2011)、UAE(2014)	合弁(現地企業)、単独	複数の海外拠点を有し、中古部品販売を行っている。人材育成にも力を入れており、国内に研修センターを設置し、研修生の受け入れ等を行っている。2014年からはUAEで中古部品のオークション事業を実施。
大晃商事	マレーシア(2010)	合弁(現地企業)	マレーシアで中古部品販売を実施。
豊田通商・昭和メタル	中国・北京(2012)	合弁(現地企業)	日本企業で初めて中国の自動車解体事業に進出。今後、同地区での解体モデル工場をベースとした中国国内の他地区への展開を目指している。
飛田テック	マレーシア(2011)	合弁(現地企業)	マレーシアで中古部品販売を実施。
CRS埼玉	ニュージーランド(2008)、マレーシア(2008)、シンガポール(2011)	単独	中古部品の世界2大市場であるマレーシアに日本企業で初めて進出。取扱い量は同地区で最大級の規模。

出典:各種資料より経済産業省作成

自動車リサイクルの国際展開支援について

○静脈産業の国際展開支援について

➤ インフラ輸出促進調査事業

新興国における使用済自動車の不適正処理による環境問題や脆弱な産業インフラ等への課題に対して、我が国解体事業者及び中古部品流通事業者が有する高度な解体技術や流通ネットワークの構築ノウハウの活用によって、各国の課題解決を可能にするとともに、我が国静脈産業のインフラ輸出に繋げていくため、案件獲得前段階での事業実現可能性調査を支援する。

■これまでの実績

○中国における自動車リサイクル事業に関する実施可能性調査【平成22年度】

→ 平成24年より北京市における先進的自動車リサイクルシステム実証をNEDO事業として実施。

○大連循環産業経済区におけるリサイクルビジネス展開可能性調査【平成24年度】

→ 平成27年より大連において自動車リサイクル工場を稼働予定。

○中国における自動車部品リビルトビジネス展開可能性調査【平成25年度】

■今後想定される案件

○タイにおける自動車リサイクル事業に関する実施可能性調査

○モンゴルにおける次世代自動車リサイクルビジネス実施可能性調査